

平成26年7月11日(金) 第13号(97)

北九州市立折尾東小学校

学校だより

〒 807-0824



おりひがっこ

八幡西区光明1-2-1

TEL 602-2621 奥田 淳一

子どもたち一人一人が笑顔で過ごす学校をめざして



災害からいのちを守る

台風8号の接近のため、10日(木)は、北九州の公立学校は一斉に休校になりました。幸いにして直撃は免れましたが、大きな被害が出た地域もあります。心から回復をお祈り申し上げます。

文明が栄え、科学が発達した現代社会においてさえ、自然の脅威の前には、人間は謙虚にならなければなりません。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、想定をはるかに超えた巨大地震・津波によって広い地域で甚大な被害が発生しました。

その中で、「釜石の奇蹟」という言葉が生まれました。防災教育に力を入れていた釜石市の小・中学校で、子ども達が自分で考え、自分で判断して、自分や多くの人の命を救うことができた事象がありました。

釜石市で防災教育を進めてこられた群馬大学の片田敏彦氏は、現在北九州市の防災アドバイザーを務めておられます。片田氏は、子どもたちの生きる力を育てた3つの教えとして、次の3つのことを言われています。

1. 想定を信じるな。

(想定外のことが起こった時にマニュアル通りでは対応できない)

2. どんな時でも最善を尽くす。

(周りの状況をよく見て、最善の判断をすること)

3. 率先避難者になる。

(どんなときにも自分自身で生き延びること、子どもがその力をもっていることが家族をも救うことにつながる)



防災教育は、災害からいのちを守る教育であると同時に、私たちにとって本当に大切なものは何なのかを考えさせてくれるものだと考えます。

北九州市教育委員会では、大地震、津波、水害などの突然の災害に備えて、「災害時連絡カード」を作成し、全幼児児童生徒に配布しています。災害時連絡カードは、在校時・在宅時・その他、登下校中や日常的に立ち寄る機会の多い場所で、災害に遭遇した際の避難場所について、幼児児童生徒とその保護者が家族でよく話し合っ決めて、「〇〇にいるときは、～◇◇に避難する。」ということを入力できるようになっています。

カードは一人当たり4枚配布し、1枚は、幼児児童生徒が自分で大切に所持し、残りの3枚は、保護者、祖父母などが大切に保管するようにしています。

どうぞ、ご家庭での防災の取り組みにご活用ください。

避難場所

学校・園にいる時

家にいる時

()にいる時

()にいる時

～大切にあつかおう～

北九州市教育委員会

災害時連絡カード

学校・園

住所

名前

血液

連絡先(TEL)

避難三原則

1. 全力で逃げよう
2. 最善を尽くそう
3. 自分を信じてすんで避難しよう

学習の様子：3年

3年生から始まった社会科学習の一環として、3年生は7月1日(火)に社会見学に出かけました。初めてのバスに乗っての社会見学を3年生はとても楽しみにしていました。ケーブルカーで皿倉山に登って、八幡のまちの様子を観察したり、かまぼこ工場を見学したりしました。普段目にする事のない景色や工場でのものづくりの様子に子ども達は大変興味・関心をもって見学することができました。いろいろなことを見たり知りたがること・知的好奇心をもつことはとてもよいことです。



学習の様子：なかよし学級

なかよし学級では、生活単元学習を行っています。「七夕まつりをしよう」というテーマで意欲をもって学習を進め、その中で、数・文字・ものづくり・手先の器用さなどを学習し身に付けていきます。子ども達は、自分達が一生懸命つくった、招待状を、職員室の先生方に届けてくれました。先生方はなかよし学級の「七夕まつり」に参加させていただきました。子ども達がいきいきと前向きに学習する様子を見せてもらい、大変うれしく思いました。

